

タイトル: SIP「自動走行システム」における取り組み

平成26年度より始まった戦略的イノベーション創造プログラム(略称SIP)のテーマのひとつである「自動走行システム」(略称SIP-adus)の取り組みについて報告する。

自動走行システムの実現のためには、自律系システムの技術開発に加え、ダイナミックマップと呼ばれる静的な高精度地図情報とそれに紐付けられる規制情報や信号情報などの動的情報によって構成されるデジタルインフラの整備が必要である。また、情報セキュリティやHMI(Human Machine Interface)のガイドラインなど業界として協調して取り組むべき課題も多い。

SIP-adusではこれら自動走行システム実現のための協調領域の研究に加え、2020年の東京オリンピック・パラリンピックに向けた次世代都市交通システム(Advanced Rapid Transit)の開発や交通制約者のための支援システムの開発に取り組んでいる。

本講演では、SIP自動走行システムの進捗について説明するとともに、本プロジェクトにおけるITSの役割及び期待について説明する。

※1 1枚に収まる分量を目安にいただければ幸いです。